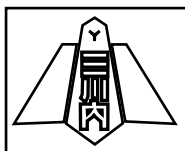


学校だより

あったか三川内

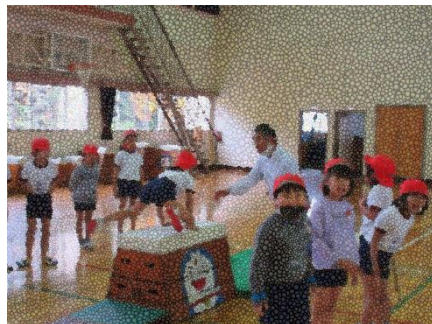


令和3年 11月29日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【体育学習～跳び箱運動～】

先週の22(月)1～3年生、24(水)4～6年生の2回に渡って、体育学習サポーターとして、諫早市より堀田敏明様に来ていただき、跳び箱運動について学習しました。堀田先生は、元高校の体育教師で、現役を引退された後、体育学習サポーターとして県内を回り、主に器械運動の仕方や体の使い方などについて、子どもたちにご指導されています。今年になって本校で6校目だそうです。1～6年生までそれぞれ1時間ずつの授業の中で、子どもの発達段階に応じた跳び箱の跳び方(開脚跳び・台上前転など)を、手の付き方や踏切の仕方、着地の姿勢などを中心に丁寧に教えていただきました。子どもたちは話を熱心に聞きながら、跳び箱運動の「こつ」を掴もうと一生懸命練習しました。中には、1時間で開脚跳びや台上前転ができるようになった子もいました。今回教えていただいたことを忘れずに、これからも練習に取り組み「できるようになった」「少し上達した」と、多くの子どもたちが実感できるようになってほしいと思います。



【嬉しいお知らせ】～あったか挨拶を広げよう～

後期の初めに、子どもたちにあったか挨拶について「校内だけでなく地域にも広げて褒めてもらいましょう。」との話をしました。すると先日、正門前の百年橋付近に立って交通整理をしてくださっている警備員さんが、「この学校の子どもたちは本当に可愛いです。しっかり挨拶をしますし、ちゃんと手を挙げて横断歩道を渡ります。嬉しいです。」とおっしゃっていました。子どもたちの素直な心と職員の継続した指導とともに、あったか委員会が、給食の時放送している「あったか挨拶を地域の方に頑張っている学年の紹介」などの取組が、子どもたちのやる気を引き出しているのでしょう。これからも、「挨拶は自分から」「気負いすることなく自然体で」「元気な声と輝く笑顔で」多くの子どもたちができるようになることを願って、指導・支援を続けてまいります。